

# インストールファイルをOS・言語ごとにフィルタする方法(InstallScript プロジェクト)

注)このドキュメントは、*InstallShield 2011 Premier Edition* を基に作成しています。*InstallShield 2011* 以外のバージョンでは設定名などが異なる場合もあります。

## 概要

コンポーネントを特定のOSや言語に応じてインストールさせたい場合、コンポーネントのフィルタリングを行います。この記事では InstallScript プロジェクトで、コンポーネントを OS や言語でフィルタする方法を説明します。

## A. インストーラのサポート言語設定

インストーラが複数言語に対応できるように、言語の設定を行います。

1. [インストール情報]ー[一般情報]ビューにて、[全般]ー[セットアップ言語]を選択します。フィールド右端に表示される [...]ボタンを選択します。
2. [セットアップ言語]ダイアログにて、サポートする任意の言語にチェックを入れます。  
(この手順では、英語と日本語を選択)

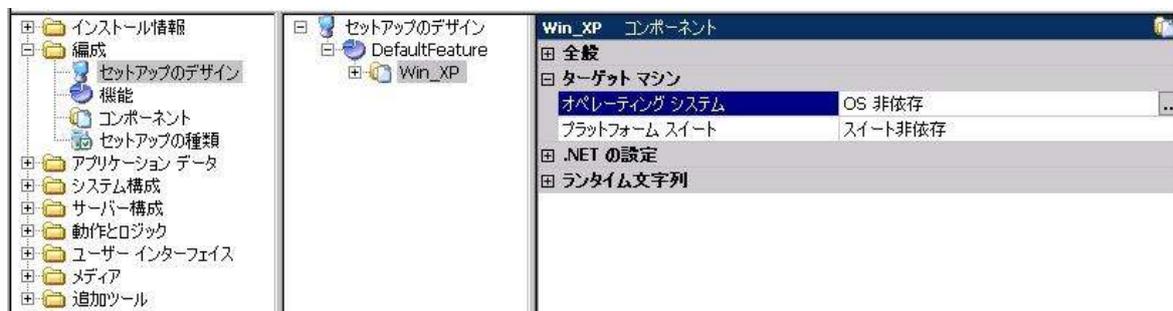


## B. コンポーネントの設定( OS によるフィルタ設定)

OS ごとにそれぞれコンポーネントを作成して、フィルタ設定を行います。

1. [編成]ー[セットアップのデザイン]ビューにて、既存の機能を右クリックして[新しいコンポーネント]を選択します。  
作成されたコンポーネントに任意の名称を設定します。

2. 作成したコンポーネントに OS の条件を追加します。右のペインにて[ターゲット マシン]—[オペレーティング システム]を選んで、[...]ボタンを選択します。



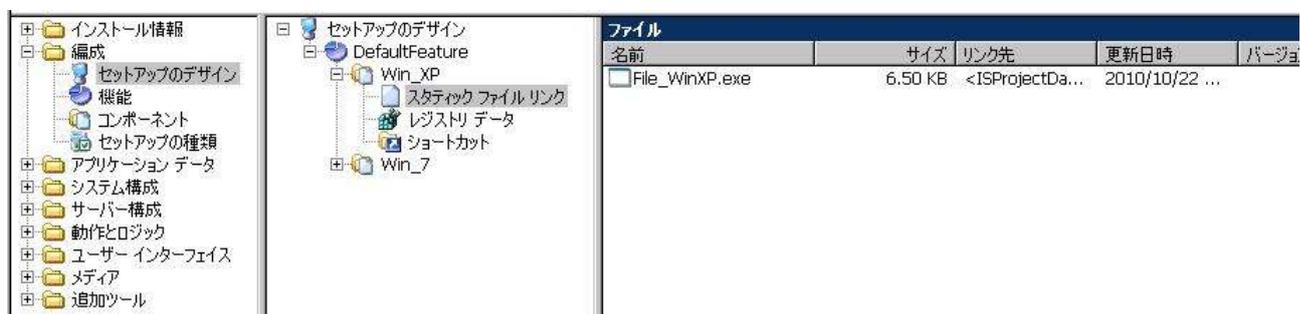
3. [プラットフォーム]ダイアログにて、[以下のチェックされたプラットフォームでセットアップが実行されているときにのみ、このコンポーネントのファイルをインストールする]を選びます。一覧より該当するプラットフォームにチェックをつけます。(この図では、Windows XP を選択しています。)



※Windows Vista/Windows 7 環境のみ(Windows Server 2008/2008 R2 は含まない)をターゲットにする場合は、上記の手順に加えて、[プラットフォームスイート](手順 2 の図を参照)設定にて、[Windows Workstation]にチェックをつけます。その反対に Windows Server 2008/2008 R2 環境のみをターゲットにする場合は、[Windows Server]にチェックをつけます。



4. 条件設定を行ったコンポーネントの[スタティック ファイルリンク]ビューにて、対応したファイルをそれぞれ含めます。(下の図では Windows XP 用コンポーネントに XP 用のファイルを含めています。)



### C. コンポーネントの設定(言語によるフィルタ設定)

言語ごとにそれぞれコンポーネントを作成して、フィルタ設定を行います。

1. [編成] - [セットアップのデザイン]ビューにて、既存の機能を右クリックして[新しいコンポーネント]を選択します。作成されたコンポーネントに任意の名称を設定します。
2. コンポーネントに言語の条件を追加します。右のペインにて[全般] - [言語]を選んで、[...]ボタンを選択します。



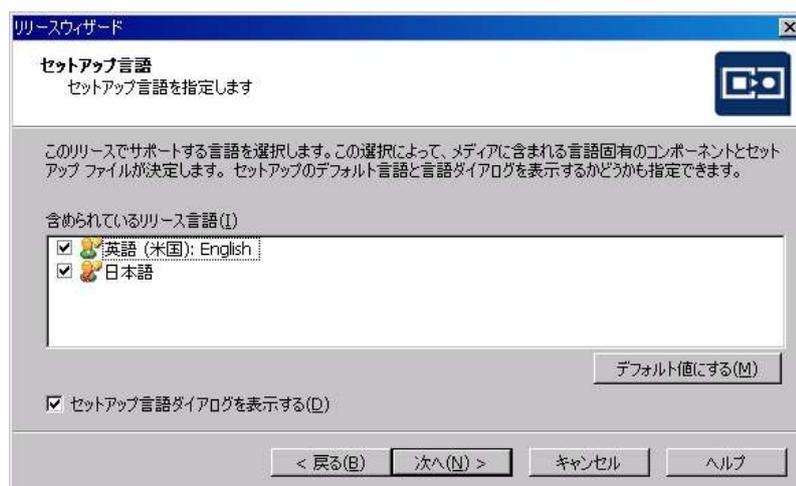
3. [言語]ダイアログにて、フィルタする言語にチェックをつけます。(右の図では日本語を選択しています)

4. 条件設定を行ったコンポーネントにそれぞれ、対応するファイルを含めます。(日本語用コンポーネントには日本語ファイル・英語用コンポーネントには英語ファイル等)



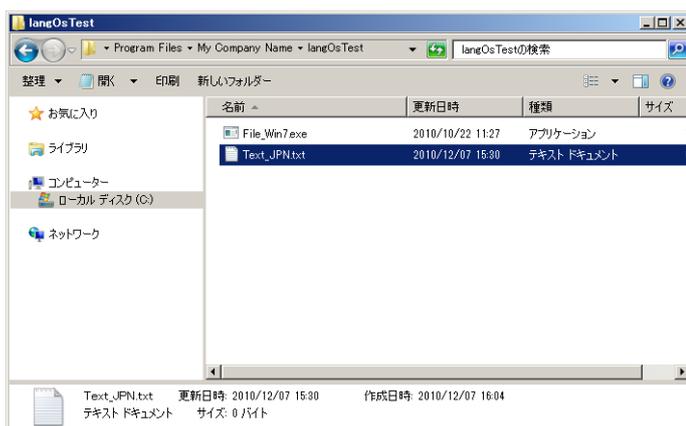
## D. インストーラのビルド・動作の確認

1. [メディア]－[リリース]ビューにて、[リリース]を右クリックして[リリースウィザード]を起動します。
2. [セットアップ言語]ダイアログが表示されたら、サポートするすべての言語にチェックをつけます。それ以外のダイアログはデフォルトの設定で進めます。ウィザードの終了後、インストーラのビルドが実行されます。

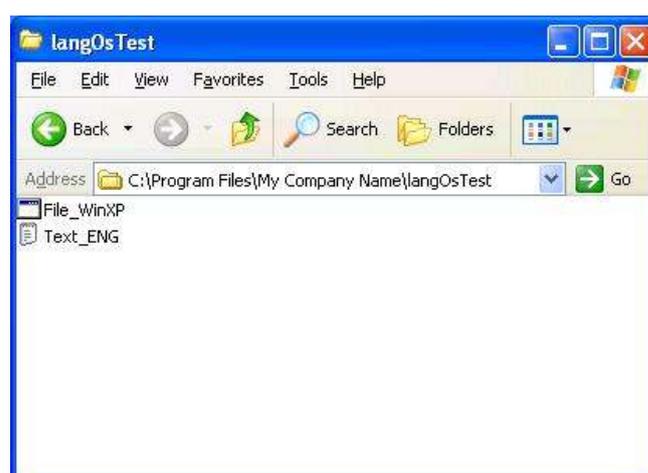


3. 生成されたインストーラを実行します。実行環境によって異なるファイルが転送されることを確認します。

Windows7・日本語環境で実行した場合の例



Windows XP・英語環境で実行した場合の例



※ 言語のフィルタはターゲットシステムの実際の言語ではなく、インストーラ実行時に選択された言語によって行われます。